



札幌市立大学

研究・活動事例集

2021



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学 研究・活動事例集 2021

札幌市立大学はデザインと看護の2学部、2研究科、助産学専攻科を設置し、「人間重視」と「地域社会への貢献」を基本理念に掲げ、デザインと看護の特色を活かした教育・研究・社会貢献活動に取り組んでいます。

本冊子は産学官金連携・地域連携等にさらに積極的に取り組むため、多くの方々に本学教員の最新の研究活動事例をご紹介しますことを目的に発行いたしました。

札幌市立大学教員の教育・研究、地域社会との連携活動に関心を持っていただければ幸いです。

(本文中の役職は2020年度当時のものです)

I. 研究交流活動

〈2020 年度 SCU 産学官金研究交流会（2020.12.1 ～ 2021.3.31 SCU-TV（YouTube）によるオンライン配信）〉		
02	1. 幼児の感受性に応じて変容する玩具の研究	デザイン学部 教授 細谷 多間
		デザイン学部 講師 小宮 加容子
03	2. 食の地産地消を通して地域高齢者の健康支援を行うための基礎調査	看護学部 教授 菊地 ひろみ
06	3. 深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	AI ラボ 准教授 高橋 尚人
07	4. 共創のうまれかた ―一人びとがもっている相互性と信頼がうまれるとき―	デザイン学部 准教授 横溝 賢
11	5. 子どもの貧困から考える：健康と地域の力	看護学部 教授 喜多 歳子

II. 展示会等の参加

14	1. 第 34 回北海道技術・ビジネス交流会「ビジネス EXPO」(2020.11.5 ～ 6 アクセスサッポロ) ・札幌市立大学 地域産学連携協力依頼事業	事務局地域連携課 係長 高橋 嗣仁
----	---	-------------------

III. 地域連携・地域貢献活動

18	1. 公開講座開催
20	2. 受託研究
20	3. 共同研究
21	4. 地域貢献（地域産学連携協力依頼）
29	5. 地域連携研究センターのご案内



研究交流活動

〈2020 年度 SCU 産学官金研究交流会〉
2020 年 12 月 1 日（火）～ 2021 年 3 月 31 日（水） SCU-TV（YouTube）によるオンライン配信

1. 幼児の感受性に応じて変容する玩具の研究
〈2020 年 12 月 1 日（火）～ 2021 年 3 月 31 日（水）〉
細谷 多間（デザイン学部 教授）・小宮 加容子（デザイン学部 講師）
2. 食の地産地消を通して地域高齢者の健康支援を行うための基礎調査
〈2020 年 12 月 7 日（月）～ 2021 年 3 月 31 日（水）〉
菊地 ひろみ（看護学部 教授）
3. 深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究
〈2020 年 12 月 14 日（月）～ 2021 年 3 月 31 日（水）〉
高橋 尚人（AI ラボ 准教授）
4. 共創のうまれかた ―一人びとがもっている相互性と信頼がうまれるとき―
〈2020 年 12 月 21 日（月）～ 2021 年 3 月 31 日（水）〉
横溝 賢（デザイン学部 准教授）
5. 子どもの貧困から考える：健康と地域の力
〈2021 年 1 月 4 日（月）～ 2021 年 3 月 31 日（水）〉
喜多 歳子（看護学部 教授）



広報チラシ（表）



広報チラシ（裏）

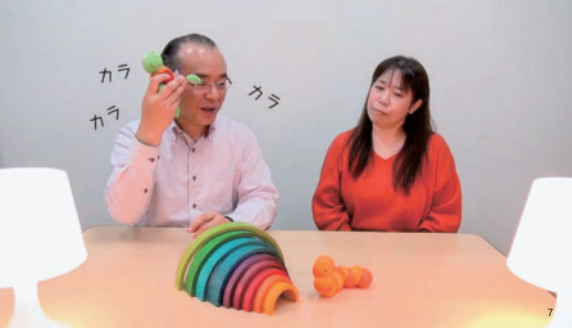
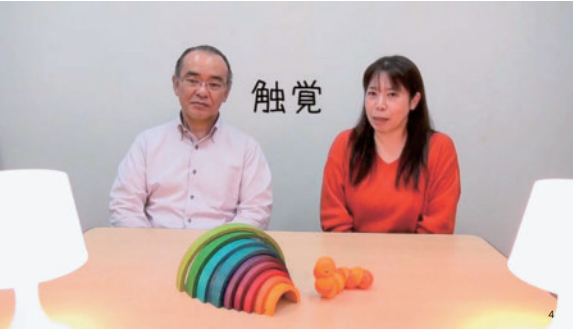
Title

幼児の感受性に応じて変容する玩具の研究

Author

細谷 多聞¹⁾ 小宮 加容子²⁾
1) 札幌市立大学 デザイン学部 教授 2) 札幌市立大学 デザイン学部 講師

幼児の成長過程においては、個々の感覚の受容にばらつきがあり、このバランスを欠くとさまざまな障がいにつながると考えられています。この研究では、遊びながら感覚の受容を調整できる玩具の開発を行っています。

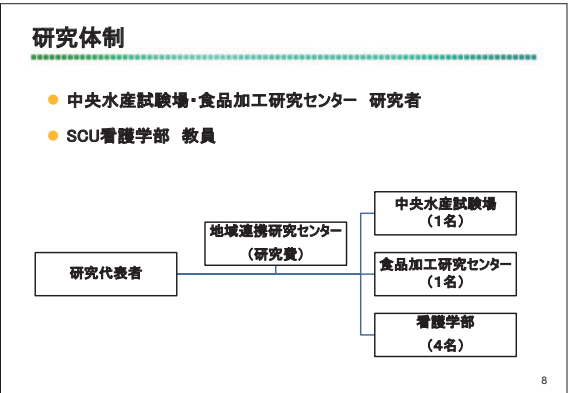
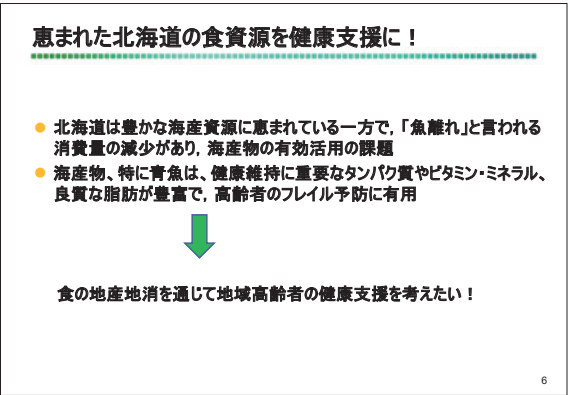
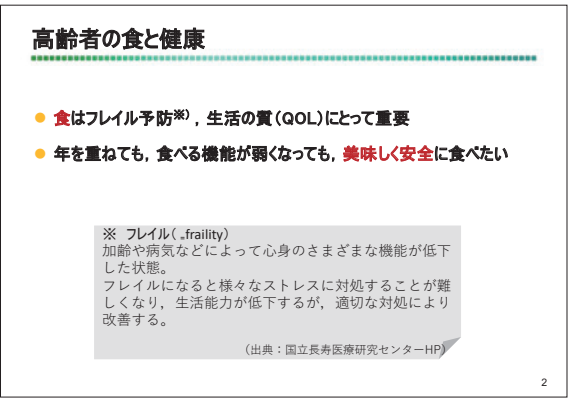
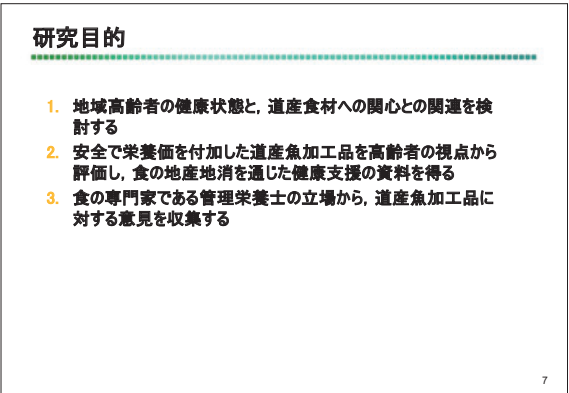
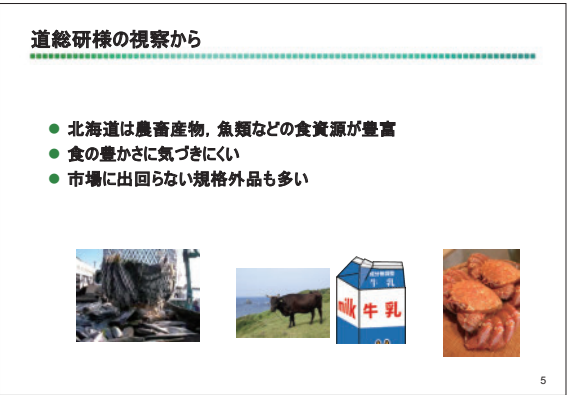
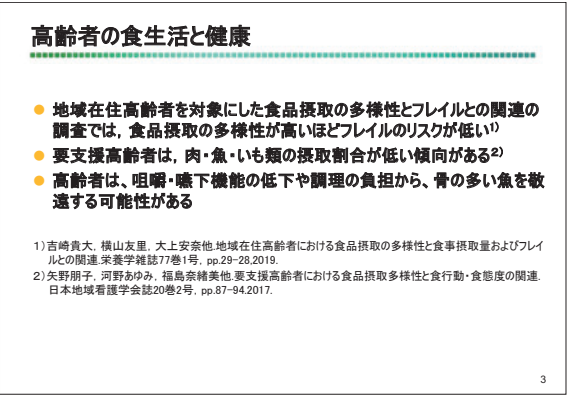
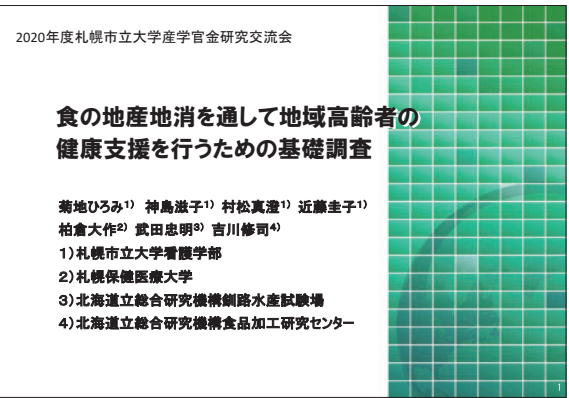


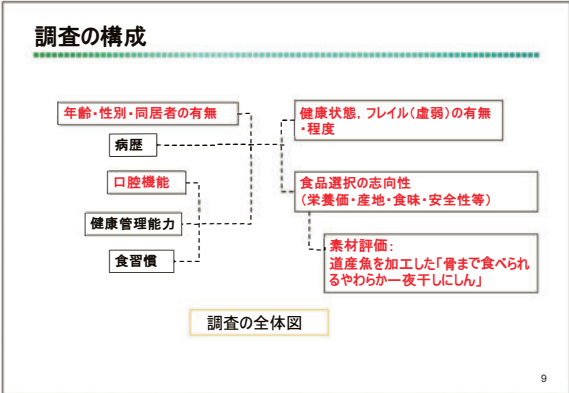
Title

食の地産地消を通して地域高齢者の健康支援を行うための基礎調査

Author

菊地 ひろみ¹⁾ 神島 滋子²⁾ 村松 真澄²⁾ 近藤 圭子³⁾
柏倉 大作⁴⁾ 武田 忠明⁵⁾ 吉川 修司⁶⁾
1) 札幌市立大学 看護学部 教授 2) 札幌市立大学 看護学部 准教授 3) 札幌市立大学 看護学部 助教
4) 札幌保健医療大学 5) 北海道立総合研究機構 釧路水産試験場 6) 北海道立総合研究機構 食品加工研究センター



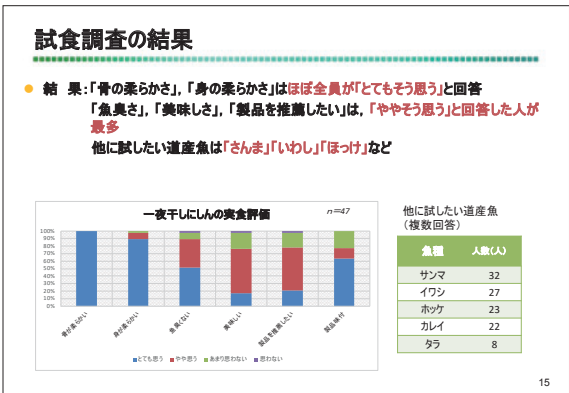


対象者の概要

	虚弱高齢者			健康高齢者		
	女性	男性	小計	女性	男性	小計
人数	13	5	18	27	2	29
平均年齢	83.4±7.9歳			74.9±7.3歳		
過去5年間の通院・入院・手術						
通院歴有の人数	14			21		
入院歴有の人数	10			11		
手術歴有の人数	7			9		

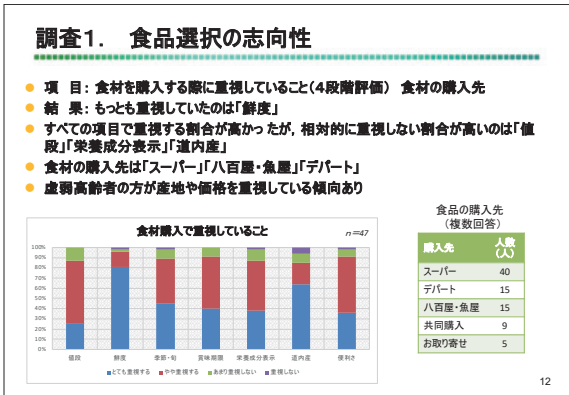
調査2 試食調査

- 方法: 素材の試食後、4段階評価
- 素材: 「骨まで食べられるやわらか一夜干しにしん」
 - 中央水産試験場と道総研食品加工研究センターが共同で開発したにしんの加工食品
 - 道産にしんの有効利用
 - 商品化され余市町の特産品として販売されている



調査 1. 2

- 対象: A市内在住の高齢者
- 期間: 2019年9月～2020年1月
- 調査項目: 病歴, 同居者の有無
食品選択の志向性, 食習慣
フレイル評価(体力測定, 質問紙)
口腔機能, 健康管理能力
- 倫理的配慮: 札幌市立大学研究倫理委員会の承認を得て実施



製品の特長

- 骨を柔らかくする加工方法により、「にしん」の骨まで全部食べられる
- 「にしん」の臭いを少なくするよう、大豆のホウで加工
- 加熱済みで開封してそのまま食べられる
- レトルト加熱により常温で長期保存が可能
- 食品添加物を使用していない

口腔機能と試食評価の関係

- 3種類の口腔機能評価: ODK(嚥下評価テスト) OAG(舌・歯肉・歯歯などの口腔の状態評価)は総じて良好
- RSST(反復唾液嚥下テスト)は健康高齢者が有意に良好
- 口腔・嚥下機能と実食評価との関連はなかった

表6. 口腔・嚥下機能の比較	全群(n=48)	健康群(n=29)	虚弱群(n=17)	p値
pa群回/秒	6.0±1.1	6.0±1.2	5.9±0.5	0.86
ts群回/秒	5.9±1.1	6.0±1.2	5.8±0.0	0.55
ka群回/秒	5.7±1.1	5.7±1.9	5.6±0.3	0.61
RSST回(30秒)	7.0±4.2	8.7±4.1	4.1±2.6	0.00*
OAGトータルスコア(18-24)	8.4±0.6	8.4±0.6	8.4±0.7	0.87

*p<0.05

調査3. 管理栄養士の試食評価とFGI

- 対象: A市内に在勤の管理栄養士6名
- 期間: 2019年10月
- 調査項目: 製品試食と評価、フォーカスグループインタビュー※(FGI)

※ FGI
特定のテーマについて、5～8名でグループを構成して意見を述べ合いデータ化する調査方法
グループダイナミクスにより多角的で豊富なアイデアを引き出せるメリット
市場調査などで用いられることが多い

調査3. 管理栄養士によるFGI

- FGIテーマ: 「骨まで食べられるやわらか一夜干しにしん」について

<調理済みで長期保存可能なメリットを活かす>

- 買い物に自分で行けない高齢者が、缶詰代わりの利便性。
- 調理の難しい高齢者に良い食品
- 学校給食で骨抜き素材に代わる食材になる
- 骨がなく、病院給食でインシデントの心配がない

調査3. 管理栄養士によるFGI

- FGIテーマ: 「骨まで食べられるやわらか一夜干しにしん」について

<にしんの栄養価に着目>

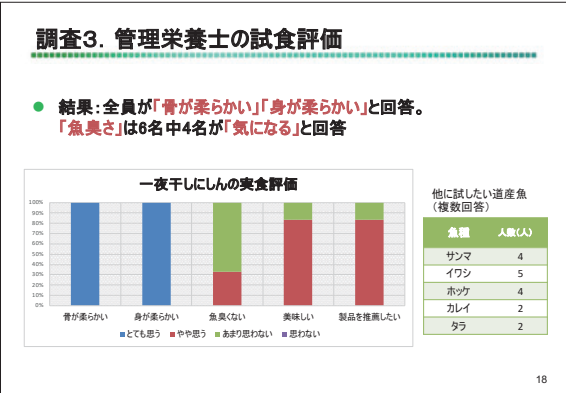
- ビタミンDが豊富で骨に良く貴重な食材
- 骨ごと食べられるので子どもに食べさせたい⇒学校給食
- 不飽和脂肪酸、ビタミンB群が揃った優秀な食材

<調理の工夫で用途を広げる>

- 魚臭さの低減が必要
- 醤油やマヨネーズで変化をつける
- 煮物やつみれの素材として利用
- とうみをかけると嚥下力の弱い高齢者も食べられる
- レシピの提供

考察

- 健康高齢者と虚弱高齢者では、握力と椅子からの立ち上がりにより有意な差が認められた。握力は体幹筋力と比例することから、**虚弱高齢者の筋肉量の減少が伺われた**
食生活を含む生活習慣の点検の必要性
- 管理栄養士による試食評価では、**製品の魚臭いについて気になる割合が多く、食の専門家には気になる臭いかもしれない**
- 管理栄養士からの製品利用のアイデアから、**素材として長所の多い製品であることが伺われた**



調査3. 管理栄養士によるFGI

- FGIテーマ: 「骨まで食べられるやわらか一夜干しにしん」について

<対象を定めて販路を拡大する>

- 食の細い高齢者向けには小パックが適当
- 高齢者施設や学校給食に向く
- 病院給食にも使いたいコストが課題
- 業務用にしてコストを下げる
- 美味しいものを求めるサービス付き高齢者住宅などへの販路
- 10食1パックの単位はグループホームで使いやすい
- 多少割高でも産地や安全性にこだわる在宅高齢者に向く
- 北海道産農産で余市ブランドに育てる

考察

- 本調査の高齢者は、食品購入の際、価格はあまり重視せず、デパートの利用も一定数いたことから、**価格よりも品質重視の集団だった可能性**
- 虚弱高齢者が産地(道内産)や価格を重視している傾向があり、**虚弱高齢者が食品選択により気を配っている可能性**
- 口腔・嚥下状態は総じて良好で、口腔・嚥下状態の違いによる実食評価への影響は検出されず。本調査の高齢者の特長を反映

結論

- 食品を購入する際、虚弱高齢者群に産地(道内産)と価格を重視する傾向があった
- 製品に対する試食評価は、総じて良好だった
- 本調査の高齢者の口腔機能は良好で、口腔の状態による製品評価の違いは確認されなかった
- 管理栄養士によるFGIから、本品は長所が多い製品であることが認められた

深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究

高橋 尚人
札幌市立大学 AI ラボ 准教授

共創のうまれかた
—人びとがもっている相互性と信頼がうまれるとき—

横溝 賢¹⁾ 須永 剛司²⁾ 岡本 誠²⁾
1) 札幌市立大学 デザイン学部 准教授 2) 公立はこだて未来大学

深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究

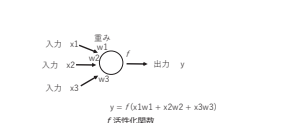
2020年度学内研究交流会
2020年8月25日
札幌市立大 AIラボ 高橋尚人

研究の概要

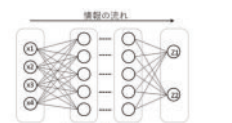
- 研究名称：深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究
- 研究目的および内容：コンクリート構造物が健全であるか否かを判別する非破壊検査方法を開発することを目的とする。具体的には、ドライアイスペレットをコンクリートにぶつけて得られた衝撃音のスペクトルデータから、深層学習を用いてコンクリートが健全であるか否かを判別する方法を開発する。
- 研究期間：令和元年度
- 共同研究者：(株)メイセイ・エンジニアング

ニューラルネットワーク

- 人間や動物の神経回路をモデルとしたアルゴリズム
- ニューロンの集合体で、入力層、隠れ層（中間層）、出力層で構成される
- 多層のニューラルネットワーク（Deep Neural Network）による機械学習手法を**ディープラーニング（深層学習）**という



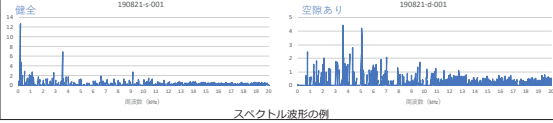
ニューロンの模式図



ニューラルネットワーク（順伝達型）の模式図

共同研究の経緯

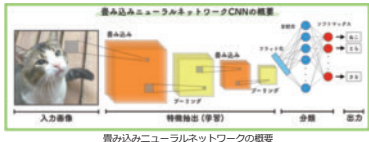
- コンクリートが劣化すると、内部に空隙が生じる場合がある
- 目視では内部の空隙がわからないため、ハンマーでコンクリートを打撃し、打撃音から空隙の有無を判別する検査を行ってきた（検査員が耳で音を聞いて判断）
- 検査を効率化するため、ドライアイスペレットをコンクリートにぶつけ、打撃音のスペクトルから空隙の有無を判別する技術開発に取り組んでいる企業から、スペクトルデータ解析（健全or空隙ありの判別）について相談があった。
- ポイント：「**スペクトル波形を見ると空隙の有無を判別できる**」
- スペクトル波形を画像化し、深層学習の一手法で画像認識に広く用いられる「畳み込みニューラルネットワーク」で分析可能では？



スペクトル波形の例

畳み込みニューラルネットワーク（CNN）

- 畳み込みニューラルネットワーク（Convolutional Neural Network: CNN）は、何層もの層を持つニューラルネットワークで、特に画像認識の分野で活用。
- 人間の視覚をモデルに考案された
- CNNは「畳み込み層」、「プーリング層」などの層で構成される。
- 畳み込み層：画像にフィルタをかけて、特徴抽出をする
- プーリング層：抽出された特徴が、像の位置の違いなどの影響を受けにくいよう縮小

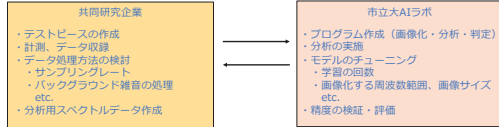


畳み込みニューラルネットワークの概要

出典：https://kenryo-4life.com/2019/02/07/convolutional_neural_network/

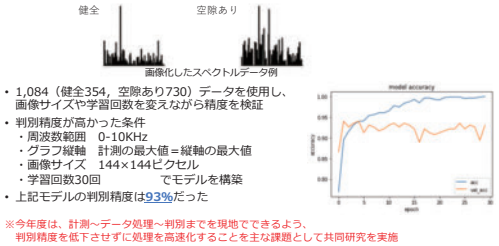
共同研究の役割分担

役割分担



分析の方法・結果

- 方法：スペクトル波形を画像化し、CNNで健全・空隙ありの判別を試みる



- 1,084（健全354、空隙あり730）データを使用し、画像サイズや学習回数を変えながら精度を検証
- 判別精度が高かった条件
 - 周波数範囲 0-10KHz
 - グラフ縦軸 計測の最大値＝縦軸の最大値
 - 画像サイズ 144×144ピクセル
 - 学習回数30回でモデルを構築
- 上記モデルの判別精度は**93%**だった

※今年度は、計測～データ処理～判別までを現地でできるよう、判別精度を低下させずに処理を高速化することを主な課題として共同研究を実施

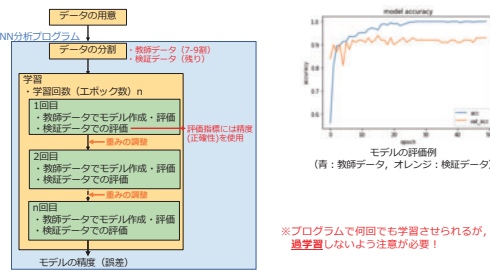
CNNの特徴

- 学習させた画像を分類できる（種類を問わない）
 - 犬、猫、馬、人の画像を学習 → 犬、猫、馬、人の画像を分類するモデル
 - 飛行機、自動車、船の画像を学習 → 飛行機、自動車、船の画像を分類するモデル
- ※「人が見て分かる（区別できる こと）」が重要
 - 犬、猫、馬、人 → ○
 - かわいい、渋い → ×



- 画像認識（CNN）は多くの分野で適用されている
 - 深層畳み込みニューラルネットワークに基づくコンクリート表面のひび割れ検出システム
 - 転移学習や畳み込みニューラルネットワークを用いたCTコロノグラフィ検出補助からのポリープ分類法
 - 畳み込みニューラルネットワークによるタンパシンの創体識別
 - 多段階畳み込みニューラルネットワークを用いた歩行に基づく年齢推定 etc.

CNNの学習・検証について

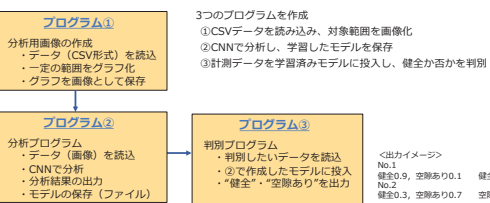


モデルの評価例

（青：教師データ、オレンジ：検証データ）

※プログラムで何回でも学習させられるが、**過学習**しないよう注意が必要！

（参考）本研究で作成したプログラム



プログラム作成にはPythonを使用。ディープラーニング用のライブラリとしてTensorflow、Kerasを使用

303 深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究

共創のうまれかた
～人びとがもっている相互性と信頼がうまれるとき～

横溝 賢¹⁾ 須永 剛司²⁾ 岡本 誠²⁾
1) 札幌市立大学 2) 公立はこだて未来大学

もくじ

- 01 背景と目的
- 02 基本構造：研究を支える考え方
- 03 研究方法：どんな方法で探究したか
- 04 発見：探究から見出したこと
- 05 議論：共創が生まれる原理とは？
- 06 おわりに：今後の課題、学んだこと

02 基本概念

○デザインにおける「共創」とは



「共創」とはデザインの専門家が、市民の知恵と技に出会い、その良さを味わい尊重すること、そこから人びとと共同しそれら活動をより創造的な営みに変革すること。
[須永2015]

03 研究方法

○「4つの活動」に出会った実践を振り返る（省察）

町のカラーパレットづくり K氏 空間デザイナー 4名	七夕祭りローソクもらい実践 I氏 元町町内会副会長 3名	民泊と共同の活動の場づくり T氏 民泊事業者 4名	歴史的建造物の再生事業を知る G氏 不動産事業者 6名

01 背景と目的



地域には社会を形づくる活動を、自主的におこなっている人がいる。かれらの活動は、周囲との共同のもとに推し進められている。本研究は、活動家に共同の実践を申し出て、その実践の中で、どのように共創が生まれるのかを明らかにすることを目的とする。

03 研究方法

○アクションリサーチ法

- アクションをおこなったフィールド
 - ・北海道 函館市 西部地区
- アクション
 - ・デザイン学生の授業として
 - ・2019年6月14日～7月26日
- アクションの内容
 - ・市民活動家の「4つの活動」を知る



03 研究方法

○「4つの活動」を知る実践の流れ



03 研究方法

○ 事拾図とは

事拾図とは、体験の全体を
観察・洞察・表現・共有する方法
学生が表現した「図を当事者と共有すること」で、
現場の活動主体者たちとの共創が促進される
[岡本2015]



03 研究方法

○ 分析の方法

○活動記録や事拾図の「情景」「気持ち」「発見」の意味を解釈し共創のうまれかたを導き出す



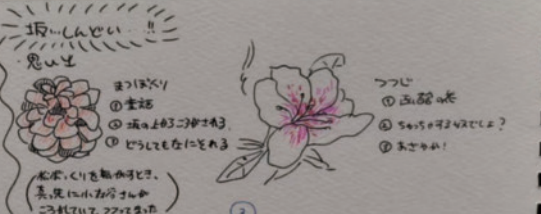
05 発見2：開放

(2) 開放：互いの開かれた姿勢から受け入れ活動がはじまる



05 発見3：相互性

(3) 相互性：異なる相手との関係に相互性と信頼が生まれてくる



03 研究方法

○ 省察と分析に用いたデータ

- 学生の活動記録ノートと事拾図
- 授業での報告、レポート
- 発表会での資料、記録
- プロジェクトの成果物



04 発見

○ 探究から見出した、共創のうまれかたのモデル

表1 共創のうまれかたのモデル(5つのステップ)

(1) 受苦	共同する他者を受け入れることに苦しさを感じる
(2) 開放	互いの開かれた姿勢から受け入れ活動がはじまる
(3) 相互性	異なる相手との関係に相互性と信頼が生まれてくる
(4) 主体性	互いに主体性がわき起こり第3の活動が起こる
(5) 再設定	自分の活動を再設定してもいいんだという気づきと意思を手にする

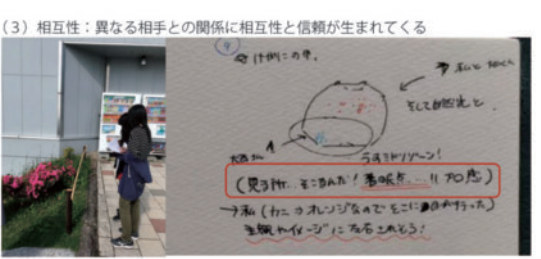
05 発見3：相互性

(3) 相互性：異なる相手との関係に相互性と信頼が生まれてくる



05 発見3：相互性

(3) 相互性：異なる相手との関係に相互性と信頼が生まれてくる



05 発見：探究から見出したこと

○ 探究から見出した、共創のうまれかた_5つのモデル



町のカラー パレットづくり K氏 空間デザイナー 46	七夕祭り ローソクもらい実演 I氏 元町内会副会長 36	民泊と共同活動の 道づくり T氏 民泊事業者 46	歴史的建造物の 再生事業を知る Q氏 不動産事業者 66
--------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------

05 発見：探究から見出したこと



05 発見：探究から見出したこと



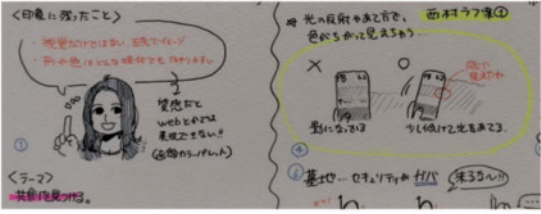
05 発見3：相互性

自分自身の色の感じ方を大事にしながら、
はこだてをイメージする色を次回までにまとめること!



05 発見：探究から見出したこと

○ 探究から見出した、共創のうまれかた_5つのモデル



05 発見：探究から見出したこと



05 発見：探究から見出したこと

(4) 主体性：互いに主体性がわき起こり第3の活動が起こる



05 発見：探究から見出したこと



05 発見：探究から見出したこと



05 発見1：受苦

(1) 受苦：共同する他者を受け入れることに苦しさを感じる



05 発見：探究から見出したこと

(4) 主体性：互いに主体性がわき起こり第3の活動が起こる



05 発見：探究から見出したこと

(5) 再設定：自分の活動を再設定してもいいんだという気づきと意思を手にする



Title

子どもの貧困から考える：健康と地域の力

Author

喜多 歳子
札幌市立大学 看護学部 教授

05 発見：探究から発見したこと



従来の「海」と「空」の色に、新色5色を加えた色見本「町つみき」が完成した

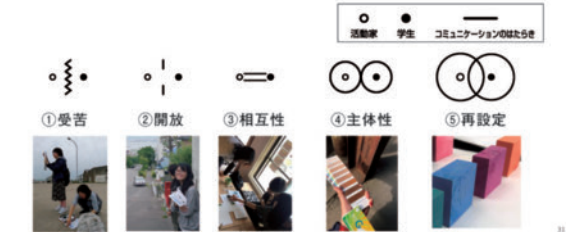
05 発見5：再設定



あきらめかけていた
両船カラープロジェクトを
やっばり続けていく元気をもらいました

05 発見4：主体性

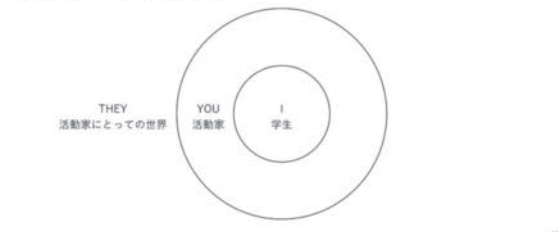
○共創のうまれるまでのコミュニケーション変化



①受苦 ②開放 ③相互性 ④主体性 ⑤再設定

06 議論：5段階モデルが成り立つ原理とは？

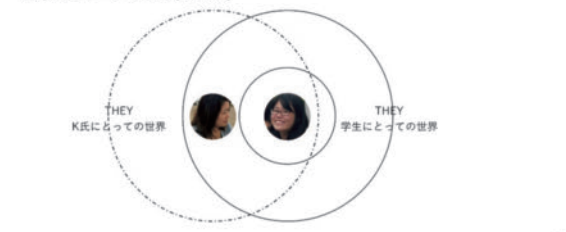
○学びのドーナツ論 (佐伯 1995)



THEY 活動家にとっての世界
YOU 活動家
I 学生

06 議論：5段階モデルが成り立つ原理とは？

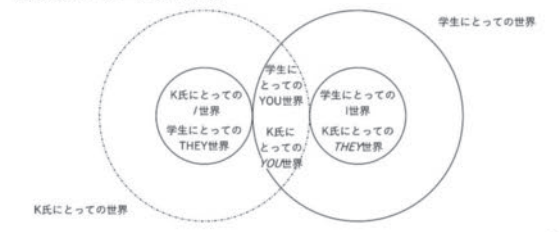
○学びのドーナツ論 (佐伯 1995)



THEY K氏にとっての世界
THEY 学生にとっての世界

06 議論：5段階モデルが成り立つ原理とは？

○共創の二重ドーナツモデル



学生にとっての世界
K氏にとっての世界

07 おわりに：学んだこと

活動家たちは、自分たちの社会をどう造りたいのか、何をどう創れば良くなるのか？という想いで動いている。

それらの想いをかたちにしようとすると、そこに立ち現れる現実社会の複雑さと不安定さに出会う。

その中でもがくと、課題（種子・活動の原動力）が見えてくる。そこまでやってみて共創がうまれる。



07 おわりに：学んだこと

共創がうまれなかった（ように見える）チームの活動を振り返り、考察する



町のカラーパレットづくり 4名
七夕祭り ローンタもちい実践 3名
民泊と共同の活動の場づくり 4名
歴史的建造物の再生事業を知る 6名

07 おわりに：学んだこと

2019年12月に共創学会（九州大学）にて本研究を発表した。

質疑応答にいただいた貴重な意見を紹介します。

「うまくなったチームはあるのか？（質問者）」
> 「あります。T氏のチームです（横溝）」
「なぜうまくいかなかったのか（質問者）」
> 「T氏と学生は依頼引受関係だった（横溝）」

T氏チームの失敗の要因を共創のうまれた5ステップに従って考察することで、理論の補完をおこないたい。



The 3rd Annual Conference of the Society of Co-Creativity
第3回共創学会年次大会

ご静聴ありがとうございました

参考文献

【佐伯 2015】 著者解説：社会を形作るデザイン・デザインすることを社会的なプロセスにすること、計画行動43、計画行動学会
【岡本 2015】 岡本誠、安井重典、東出三輝、コトを生け継ぐの手段・手段（ことひろいず）、第62回大会報告集、日本デザイン学会
【中村 1992】 中村誠二郎、臨海の家とはなにか、新流書局
【佐伯 1995】 佐伯明、「学び」ということの意味（子どもと教育）、新流書局

札幌市立大学

2020年度SCU看護学会研究交流会

子どもの貧困から考える
健康と地域の力

札幌市立大学看護学部
喜多 歳子



貧困の種類

- 絶対的貧困 衣食住に事欠く深刻な貧困（栄養不良、感染症による死亡）
- 相対的貧困 当たり前の生活ができない（成長発達の遅れ、経験不足による社会的孤立）

子どもの貧困がなぜ問題？

- 健康、成長と発達面の影響（欠食や偏った食事、予防接種や受診控え、経験不足による学習困難と社会性の未発達）
- 不適切な育児（環境）
- 心理的影響（低い自己肯定感）
- 将来の健康に影響

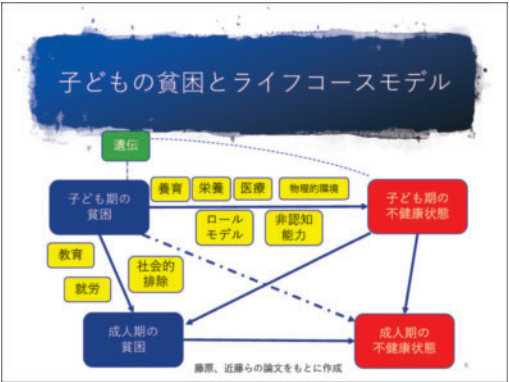
子どもの貧困対策の推進に関する法律

目的（第1条）
子どもの現在及び将来が生まれ育った環境によって左右されないよう、全ての子どもが心身ともに健やかに育成され、及びその教育の機会均等が保障され、子ども一人一人が夢や希望を持つことができるように、子どもの貧困の解消に向けて、児童の権利に関する条件 **健康支援がない** …

基本的施策
・教育支援、生活支援、保護者の就労支援、経済的支援

内容

- 子どもの貧困による健康への影響
- 子どもへの健康影響を小さくする保健師活動
- 子どもを育てる地域への期待



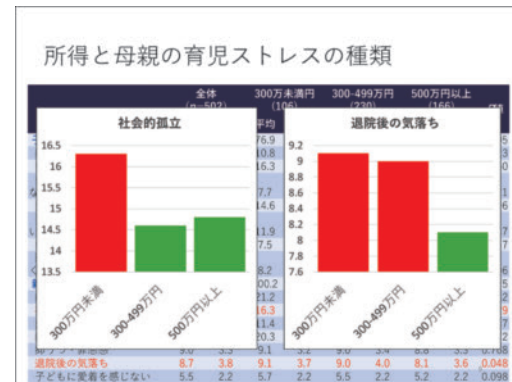
保健師の活動

- 保健師とは、保健師の名称を用いて、保健指導に従事することを業とする者をいう（保健師助産師看護師法）
- 地域保健において、保健師は健康課題の解決を支援する役割をもつ。地域住民個々人の健康問題から地域全体への課題へと視点を発展させ、課題を取り巻く状況を把握した上で、地域が主体的に解決できるよう地域特性に応じた活動を展開することが求められる。（地域における保健師の保健活動に関する検討会報告）



展示会等の参加

1. 第 34 回北海道技術・ビジネス交流会「ビジネス EXPO」
(2020.11.5 ～ 6 アクセスサッポロ)



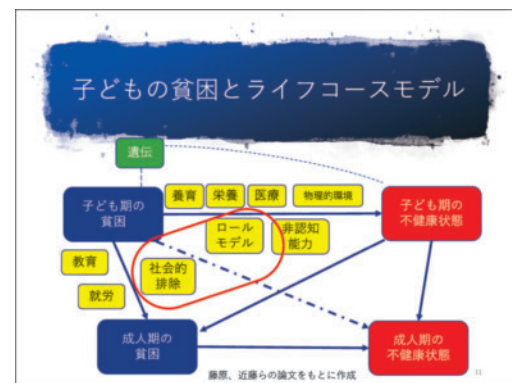
子どもの貧困に関わる保健師の支援の特徴

地域の子育て支援チームの形成と機能の向上

地域の子育て支援チームの形成と機能の向上

地域の子育て支援チームの形成と機能の向上

地域の子育て支援チームの形成と機能の向上



子どもの貧困に取り組む地域保健活動

子どもの貧困による健康影響を小さくするには地域の力が必要

子どもを見守る地域づくり

- 子どもが安心して居られる場所としての地域
- 子どもが普通を経験する機会
- 子どもが基本的な生活能力を身につける場

札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

この配信を持ちまして、2020年SCU産学官金研究交流会の研究発表は最後となります。

ご視聴いただき、ありがとうございました。

引き続き3月31日まで、これまでの全5件の研究発表の視聴が可能です。

質問や連携のご相談がありましたら、札幌市立大学までどうぞ！

札幌市立大学 地域産学連携協力依頼事業 -産学連携のご相談はお気軽に！！-

札幌市立大学 地域連携課



第34回 北海道技術・ビジネス交流会「ビジネス EXPO」

2020.11.5～11.6 アクセスサッポロ

主催：北海道技術・ビジネス交流会実行委員会（事務局 ノーステック財団）

〔北海道経済産業局、北海道、札幌市 他〕

Title

札幌市立大学 地域産学連携協力依頼事業 —産学連携のご相談はお気軽に！！—

Author

高橋 嗣仁

事務局地域連携課 係長

Report

2020年11月5日（木）～11月6日（金）、札幌市白石区の「アクセスサッポロ」で開催された「第34回北海道技術・ビジネス交流会（ビジネス EXPO）」に出展しました。本展示会は北海道の経済活性化や産業振興のため、新たなビジネスチャンスの創出を目指した北海道最大の展示会です。今年は、「WITH コロナ時代」として、リアルとWEBが融合した「新北海道スタイル」のもと運営される新しいカタチの展示会とし、“ビジネスをつなぎ、新たなステージへ。～競争から協働へ～”をテーマに、出展者数は215社・機関、出展規模は230小間となりました。

例年の5ゾーンに加え、コロナ感染症時代をリードする企業を集めた「WITH コロナゾーン（新設）」、ロボット・VRなどの魅力的な展示をそえた最先端機器を紹介する「先端技術ゾーン」等、時代の潮流に合う展示内容となり、来場者数は実際の来場14,692名、WEB閲覧5,963名で合計20,655名と、例年とほぼ同等でした。

本学からは地域連携課・高橋嗣仁係長による、「札幌市立大学 地域産学連携協力依頼事業 —産学連携のご相談はお気軽に！！—」というテーマで、産学官連携・地域連携による事例や産学連携事業の問合せ先等をまとめたポスターの展示と、産学連携事業による成果物の展示を行いました。本学ブースには110名以上の多くの方が足を運ばれ、大変盛況でした。

Image



「ビジネス EXPO」本学展示ブース風景

SCU※産学連携窓口

産学連携・地域連携にさらに積極的に取り組むため「SCU産学連携相談窓口」を開設しています。「研究・活動の内容を知りたい」「札幌市立大学との連携方法について知りたい」など、地域・産学連携に関する疑問・質問・ご要望がありましたらお気軽にご相談ください。ご来訪の際はあらかじめ電話またはメールにてご連絡をお願いいたします。

※SCU:SAPPORO CITY UNIVERSITY

本学の特長 D×N(ディー バイ エヌ)

本学はD(デザイン)とN(看護)の両学部を併せ持つ大学です。その特長を生かし、両学問が連携・共同して「教育・研究・地域貢献」を行っています。本学の異分野連携によってこそ可能になる、人々の暮らしや社会に新たな価値を創造する活動を実践しています。これらの活動を「D×N(ディー バイ エヌ)」と呼び、デザインと看護の連携を表しています。

協力依頼事業 産学連携事例

●就航20周年「叶える翼」ステッカー 株式会社AIR DO

受賞作品



今年就航20周年を迎える株式会社AIR DO様から依頼を受け、本学デザイン学部生とAIR DO社員が協働して「叶える翼」ステッカーのデザイン制作を行いました。AIR DO社員とともにデザインワークショップを行い、「叶える翼」に込めた思いや社員の方々の機材に対する思いからコンセプトをまとめ、それをもとに学生がデザイン制作を行いました。提案されたデザイン案の中から四季にそって4点が選ばれ、「叶える翼」ステッカーとして6月から順次機内等で配布される予定です。



●ゴム素材の北海道土産おじさんハンコの開発 株式会社ミヅマ



株式会社ミヅマ様より依頼いただき、ゴムを素材とする北海道土産の企画提案と取材を行いました。本学学生3名と株式会社アドニス・フーズ様、株式会社ミヅマ様の担当者で打ち合わせを行い、道内町村の名物おじさんを対象とし、おじさんハンコの制作が決定しました。現在製品化に向け、検討を継続しています。

●創造都市さっぽろWAON新デザイン イオン北海道株式会社



『札幌市』や『文化芸術』が感じられ、札幌市民に広く親しまれるデザイン』をコンセプトに創造都市さっぽろWAON新デザイン提案のデザインコンペが実施されました。札幌市立大学デザイン学部学生32名から33作品の応募があり、学内選考・イオン北海道の従業員による投票を経て、最優秀賞1点、優秀賞3点が選ばれ、創造都市さっぽろWAONカード新デザインとして採用されることとなりました。

●ユニバーサル製品開発 一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム



一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアム様のユニバーサル製品開発支援事業に、デザイン学部生が参加しました。2～3年生8名が9デザインを提案し、コンペ形式で3名が最優秀賞、優秀賞、特別賞を受賞しました。8案全てが試作の対象となっています。

●ご相談はお気軽に

本学は、人間重視と地域社会への貢献という教育・研究の理念のもと、地域に根ざした大学として地域支援活動に積極的に取り組んでいます。地域の皆様や様々な組織の方からのご相談を積極的にお受けしておりますので、なにかご相談事がありましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

札幌市立大学事務局
地域連携課 地域連携担当
〒005-0864
札幌市南区芸術の森1丁目
TEL: 011-592-2346
FAX: 011-592-2369
E-mail: cro@scu.ac.jp



人と向きあう、未来を創る。



札幌市立大学 地域産学連携協力依頼事業

-産学連携のご相談はお気軽に！！-

札幌市立大学 地域連携課



協力依頼事業 産学連携事例

●アナログ・ワークショップ「アナログって何だろう」 Audio-Technica/no maps



株式会社オーディオテクニカが札幌で実施する広報キャンペーン「アナログを体験しよう」において、デザイン制作、およびワークショップの企画制作等を協働プロジェクトとして実施しました。このイベントの一環として、札幌文化芸術劇場 hitaruで開催されたサッポロ・シティ・ジャズのシアタージャズライブのためにコースターのデザインをしました。また、この活動は第14回キッズデザイン賞を受賞しています。

●三吉神社例大祭 札幌大通まちづくり(株)



札幌大通まちづくり株式会社の「地域の魅力再発見プロジェクト」の一環として、三吉神社例大祭に10回目の参加をしました。デザインした「三吉くん」キャラクターによる展開活動として、お祭りガイドブック、缶バッジデザイン・配布、三吉くんお面デザイン制作・配布、三吉くんポストカードデザイン制作・配布、三吉くん焼き絵柄デザイン・販売、ペラクシーの装飾デザイン・制作、協賛店のクーポン制作・配布、会場のポップ・準備・清掃などの活動を実施しました。



●円山動物園PR事業(オリジナルデザイン入園券) 札幌市円山動物園



円山動物園と連携した授業の中で、デザイン学部生の高橋真由さんが提案した「オリジナルデザイン入園券」を実現しました。動物園と協議しながら入園券のデザインの精度向上とイベント告知ポスターを制作し、入園券は2020年1月13日に発売開始し、地方新聞にも取り上げられ、販売期間内で完売しました。



●商品パッケージのデザイン及びブランディング開発 特定非営利活動法人 ステップバイステップ



生活介護事業の利用者が作った「食器用洗剤」など、商品パッケージのデザイン及びブランディング開発を、本学の学生とステップバイステップが一体になった協働プロジェクトとして実施しました。参加した学生はデザイン学部人間情報デザインコース3年の4名です。これまで当該事業所が製造販売していた無添加石鹸のパッケージデザインをリニューアルし、あらたな製品ブランド「noyne」の提案と、その製品シリーズのデザイン制作を行いました。

●札幌交響楽団演奏会 広報宣伝用ロゴ制作 公益財団法人 札幌交響楽団



札幌市を拠点に活動する札幌交響楽団の演奏会広報用のビジュアルをデザイン学部の三上隼人さんが制作しました。来場者のニーズに合わせて様々なタイプがある鑑賞方法を、シンプルな図形と色の組み合わせに工夫を凝らして、わかりやすく表現しています。

●エコバッグデザインの制作 ごみ減量実践活動ネットワーク



海洋プラスチックごみ問題を市民に啓蒙するためのエコバッグなどに印刷するイラストを、本学デザイン学部生を対象にコンペ形式でデザインを募集し、制作しました。9名の参加学生によって計11種類のデザインが提案され、最優秀作品1点(喜多音楽)、優秀作品4点(佐藤祐衣、佐野萌夏、高島菜、桜明日花)が選ばれました。

地域連携・地域貢献活動

1. 公開講座開催
2. 受託研究
3. 共同研究
4. 地域貢献（地域産学連携協力依頼）
5. 地域連携研究センターのご案内

1. 公開講座開催

大学企画 公開講座

講座名	月日	演題名	講師
まちの健康応援室ミニ出張講座	2020/8/26（水）	次の出産に向けての心と身体の準備について	山本 真由美（看護学部 講師）
	2020/10/13（火）	子どもに多い病気と健康生活 小児伝染性疾患・肥満・アトピー・虫歯など	牧田 靖子（看護学部 助教）
	2020/11/16（月）	子育て相談	石引 かずみ（看護学部 助教）
	2021/1/15（金）	乳幼児のスキンケアと乳幼児の身体発育について	牧田 靖子（看護学部 助教）
	2021/2/9（火）	産後の身体をケアする体操など	森川 由紀（看護学部 講師）
	2021/3/1（月）	産後の心と身体のケア	大友 舞（看護学部 助教）
NCPR（新生児蘇生法） スキルアップコース（Sコース）	2020/8/8（土）	NCPR（新生児蘇生法） スキルアップコース（Sコース）	荒木 奈緒（看護学部 教授） 黒田 紀子（看護学部 講師）
	2021/3/6（土）	NCPR（新生児蘇生法） スキルアップコース（Sコース）	荒木 奈緒（看護学部 教授） 黒田 紀子（看護学部 講師） 大友 舞（看護学部 助教）
日本のAI研究を先導する4人が語る part2「AI研究の未来」	2020/7/3（金）	①深層学習の先にあるもの（記号処理との融合） ②ロボットの応用について ③深層学習の応用について ④AIの創造性について	①中島 秀之（札幌市立大学 学長） ②石黒 浩（大阪大学 名誉教授） ③松尾 豊（東京大学大学院 教授） ④松原 仁（東京大学大学院 教授）
研究の二刀流 —隠れた専門性による新たなデザインの世界への誘い— 第2弾 6話シリーズ	2020/7/4（土）	昆虫のデザイン —その多様なかたちと色の謎— 研究の二刀流・第2弾シリーズ①	酒井 正幸（札幌市立大学 名誉教授）
	2020/8/29（土）	自転車のメカニズムとデザイン 研究の二刀流・第2弾シリーズ②	細谷 多聞（デザイン学部 教授）
	2020/10/3（土）	氷上競技アイスホッケーのデザイン 研究の二刀流・第2弾シリーズ③	齊藤 雅也（デザイン学部 教授）
	2020/10/10（土）	日本語のデザイン —外国人にもやさしい日本語をめざして— 研究の二刀流・第2弾シリーズ④	酒井 正幸（札幌市立大学 名誉教授）
	2020/10/17（土）	パリの街とデザイン（その4） 研究の二刀流・第2弾シリーズ⑤	安齋 利典（デザイン学部 教授）
	2020/10/31（土）	ギター音楽のデザイン#2 —演奏とトークによるクラシックギター音楽への誘い— 研究の二刀流・第2弾シリーズ⑥	中原 宏（札幌市立大学 名誉教授）
NCPR専門コース（Aコース）	2020/8/22（土）	NCPR（新生児蘇生法）専門コース	荒木 奈緒（看護学部 教授） 黒田 紀子（看護学部 講師） 大友 舞（看護学部 助教） 小林 正樹（札幌医科大学 助教）
ELNEC-J 高齢者プログラム2020 in 北海道（オンライン講座）	2020/10/24（土）	ELNEC-J 高齢者プログラム2020 in 北海道	川村 三希子（看護学部 教授） 山下 いずみ（江別市立病院 看護師長） 三浦 直子（札幌西円山病院 副看護師長） 桑田 美代子（青梅慶友病院 看護部長代行） 吉岡 佐知子（松江市立病院 副看護局長） 西山 みどり（有馬温泉病院 看護部長）
	2020/10/25（日）		

北海道の若葉保健師とさんこカフェ （オンライン講座）	2021/2/13（土）	第1部 講演 ①面白く仕事をする4つのポイント ②札幌市新任保健師自主学習会の報告 ③新任期の2年間を振り返って 第2部 ワークショップ 町の人とやってみたい「なまえハント」	本田 光（看護学部 准教授） 深川 周平（札幌市北区役所保健福祉課） 中瀬 彩花（苫小牧市役所） 福田 大年（デザイン学部 講師）
やりたかった活動を実現する力を 磨こう！ 保健師のためのWeb講座2021 （オンライン講座）	2021/2/20（土）	もらって嬉しいアンケート（調査票）の作り方	本田 光（看護学部 准教授）
	2021/2/27（土）	こころ動かすデータの見せ方	喜多 歳子（看護学部 教授）
	2021/3/6（土）	一緒に考えよう！精神障害者への地域生活支援	伊東 健太郎（看護学部 講師）
	2021/3/13（土）	ポピュレーションアプローチを「得意技」にする！	村中 峯子（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター 参事）

北海道立総合研究機構との共催講座：「知活（ちいき）ゼミナール」

講座名	月日	演題名	講師
地活ゼミナール2020	2020/10/3（土）	テーマ「意外と知らない身近なモノ」 ①合う！医療用テープ・絆創膏の選び方使い方 ②きのこの世界	①貝谷 敏子（看護学部 教授） ②東 智則（北海道立総合研究機構林産試験場）

ちえりあとの共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

講座名	月日	演題名	講師
さっぽろ市民カレッジ2020秋期講座 建築からみる札幌の歴史・秋 ～札幌本府の成り立ち～	2020/10/6（火） 2020/10/13（火）	建築からみる札幌の歴史・秋 ～札幌本府の成り立ち～	羽深 久夫（札幌市立大学 名誉教授）

公立はこだて未来大学特別講演会（共催講座）

講座名	月日	演題名	講師
《公立はこだて未来大学特別講演会》 人工知能のデザイン	2020/10/3（土）	人工知能のデザイン	①中島 秀之（札幌市立大学 学長） ②石黒 浩（大阪大学 名誉教授） ③松尾 豊（東京大学大学院 教授） ④松原 仁（東京大学大学院 教授）

2. 受託研究

No.	研究名称	委託者	期間	研究代表者
1	AI を活用した公共事業の最適化に関する研究	札幌市（まちづくり政策局）	2020 年 4 月 1 日 ～2021 年 3 月 31 日	中島 秀之（札幌市立大学 学長）
2	キウシト湿原保全基礎研究	登別市	2020 年 4 月 21 日 ～2021 年 3 月 5 日	矢部 和夫（札幌市立大学 名誉教授・ 専門研究員）
3	ものづくりワークショップ～障がい者事業所製品の商品化への開発手法研究～	特別非営利活動法人 さっされん	2020 年 8 月 28 日 ～2021 年 2 月 28 日	横溝 賢（デザイン学部 准教授）
4	オランウータン屋内放飼場の熱・空気環境のデザイン研究	札幌市（環境局円山動物園）	2020 年 9 月 30 日 ～2021 年 2 月 26 日	齊藤 雅也（デザイン学部 教授）
5	北海道産動物の生息・飼育・展示環境の総合デザイン研究	札幌市（環境局円山動物園）	2020 年 9 月 30 日 ～2021 年 2 月 26 日	大島 卓（デザイン学部 講師）
6	動物科学館における展示デザインリニューアルに向けた調査研究	札幌市（環境局円山動物園）	2020 年 9 月 30 日 ～2021 年 2 月 26 日	矢久保 空遥（デザイン学部 助教）
7	厚真町における慰霊碑・慰霊施設に関する調査研究	厚真町	2020 年 12 月 24 日 ～2021 年 3 月 31 日	羽深 久夫（札幌市立大学 名誉教授・ 専門研究員）

3. 共同研究

No.	研究名称	申込者	期間	本学研究担当者
1	気象情報と AI 学習による防災・生活情報の研究開発	一般財団法人 日本気象協会	2020 年 2 月 18 日 ～2022 年 10 月 31 日	高橋 尚人（AI ラボ 特任准教授） 吉田 彩乃（AI ラボ 特任助教）
2	構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究(その3)	中日本高速道路株式会社	2020 年 2 月 25 日 ～2020 年 9 月 30 日	高橋 尚人（AI ラボ 特任准教授）
3	深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	株式会社メイセイ・エンジニアリング	2020 年 6 月 17 日 ～2021 年 3 月 31 日	高橋 尚人（AI ラボ 特任准教授）
4	AIRDO 航空教室の形態と教材開発	株式会社 AIRDO	2020 年 6 月 30 日 ～2021 年 3 月 31 日	安齋 利典（デザイン学部 教授） 若林 尚樹（デザイン学部 教授）
5	AIRDO のコミュニケーションツールとしての絵本に関する研究	株式会社 AIRDO	2020 年 6 月 30 日 ～2021 年 3 月 31 日	安齋 利典（デザイン学部 教授） 若林 尚樹（デザイン学部 教授）

6	メディア芸術作品を介した仮想世界インターフェースの抽出の共同研究	学校法人 明治大学	2020 年 4 月 1 日 ～2022 年 3 月 31 日	藤木 淳（デザイン学部 教授）
7	新型コロナウイルス感染症対策及び今後のまちづくりにおけるオープンデータ、ビックデータの利活用に関する研究	札幌市（まちづくり政策局）	2020 年 8 月 19 日 ～2021 年 3 月 31 日	高橋 尚人（AI ラボ 特任准教授）
8	チ・カ・ホにおける災害時の避難行動マルチエージェントシミュレーションの構築	札幌市（まちづくり政策局）	2020 年 10 月 28 日 ～2021 年 3 月 26 日	高橋 尚人（AI ラボ 特任准教授）
9	雪埋設物の検知による新しい製品・価値の創出のための先行確認	本田技研工業株式会社 国立大学法人 北見工科大学	2020 年 11 月 15 日 ～2021 年 3 月 31 日	高橋 尚人（AI ラボ 特任准教授） 吉田 彩乃（AI ラボ 特任助教）
10	映像に依らない“まちの混雑度”把握に関する実証	日本電気株式会社 北海道支社	2021 年 1 月 27 日 ～2021 年 3 月 31 日	高橋 尚人（AI ラボ 特任准教授）

4. 地域貢献（地域産学連携協力依頼）

地域連携研究センターへの協力依頼一覧（2020 年度）

No	依頼名称	依頼元	対応
1	元気ショップいこーる 商品ディスプレイ機能の向上に係る協働プロジェクト	一般社団法人 札幌市手をつなぐ育成会 会長 長江 睦子	山田 信博（デザイン学部 准教授）
2	病院における患者の癒し空間の創造	社会医療法人 朋仁会 理事長 青木 喜満	山田 良（デザイン学部 教授）
3	広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市南区長 大平 英人	大淵 一博（デザイン学部 講師）
4	「洗濯せっけん」「食器用せっけん」の宣材資料の制作	特定非営利活動法人 ステップバイステップ 理事長 萩原 良則	若林 尚樹（デザイン学部 教授）
5	札幌市立芸術の森小学校 校章デザイン募集事業	札幌市立常盤小学校 校長 神坂 淳	若林 尚樹（デザイン学部 教授） 椎野 亜紀夫（デザイン学部 教授）
6	札幌市グリーティングカード作成事業	札幌市総務局 国際部長 前田 真子	大淵 一博（デザイン学部 講師）
7	航空機のより快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン	株式会社 AIRDO CSR 企画推進室長 中村 敦夫	若林 尚樹（デザイン学部 教授） 安齋 利典（デザイン学部 教授）
8	元気ショップいこーる 商品ディスプレイプロジェクト	一般社団法人 札幌市手をつなぐ育成会 会長 長江 睦子	若林 尚樹（デザイン学部 教授）
9	Audio-Technica/no maps アナログ・ワークショップ	株式会社オーディオテクニカ コーポレートコミュニケーション課 マネージャー 松永 貴之	若林 尚樹（デザイン学部 教授） 安齋 利典（デザイン学部 教授）
10	「札幌日信電子」企業イメージ募集	札幌日信電子株式会社 代表取締役社長 若林 秀博	福田 大年（デザイン学部 講師）
11	札幌軟石を使用した工作キット配布事業	札幌市南区長 大平 英人	大淵 一博（デザイン学部 講師）
12	ショップバックデザインコンペ	株式会社土屋ホームトピア 総務室室長 阿部 貴裕	矢久保 空遥（デザイン学部助教）

13	WEB 版南区 U-40 アートフェスティバル 2020【仮称】	札幌市南区長 大平 英人	須之内 元洋（デザイン学部 講師） 石田 勝也（デザイン学部 講師）
14	「かたづけおせっかい」事業キャラクター・ロゴ作成	株式会社鈴木商会 広報部課長 渡邊 健	矢久保 空遥（デザイン学部 助教）
15	円山動物園のモデル観覧ルートとより教育効果の高い子ども向け体験プログラムの検討	札幌市円山動物園 園長 加藤 修	若林 尚樹（デザイン学部 教授）
16	札幌市エレクトロニクスセンター多目的ホール空間デザイン作成	札幌市経済観光局 局長 村山 英彦	山田 信博（デザイン学部 准教授）
17	札幌市紙製手提げバッグ作成事業	札幌市総務局 国際部長 前田 真子	大淵 一博（デザイン学部 講師）
18	北海道の自然や文化に関する学校素材としての「ツルコケモモ」の活用に向けた調査	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事長 田中 義克	武田 亘明（デザイン学部 准教授）
19	第 26 回 芸術の森地区文化祭	芸術の森地区連合会 会長 佐久間 久幸	細谷 多間（デザイン学部 教授）
20	「さっぽろ受動喫煙防止宣言」ロゴマーク募集	札幌市保健福祉局保健所健康企画課 成人保健・歯科保健担当課長 斉藤 佳代子	福田 大年（デザイン学部 講師）
21	指定管理業務 藻南公園・石山緑地パンフレット制作	指定管理者 藻南・石山・常盤・さくらの森グループ 横浜植木(株)北海道支店 支店長 喜多 伸行	椎野 亜紀夫（デザイン学部 教授） 町田 佳世子（デザイン学部 教授） 大島 卓（デザイン学部 講師）
22	常盤小 石山東小 工作ワークショップ事業	札幌市立常盤小学校 校長 神坂 淳	若林 尚樹（デザイン学部 教授）
23	TEL 新オフィスにふさわしいロゴデザインの共創	東京エレクトロン株式会社 SDCAL 開発部 部長 松沢 貴仁	柿山 浩一郎（デザイン学部 教授） 金 秀敬（デザイン学部 講師）
24	空き家を活用した多世代交流のまちづくり	ときのもり衣食住「かなでる」 代表 西山 ひろみ	片山 めぐみ（デザイン学部 講師）
25	桑園商店街わくわくプロジェクト	桑園わくわく商店会実行委員会 委員長 上條 友義	三谷 篤史（デザイン学部 教授） 村松 真澄（看護学部 准教授）
26	NoMaps 2020 Conference ニューNoMaps を考える。 オンライン落書きコミュニケーションに挑戦	公益社団法人日本アドバイザーズ協会 林 博史	安齋 利典（デザイン学部 教授） 若林 尚樹（デザイン学部 教授）
27	2020 年度版防災冊子「もしも北海道」の作成	もしも北海道 大橋 二三子	三谷 篤史（デザイン学部 教授） 村松 真澄（看護学部 准教授）
28	南区の魅力を PR する啓発品製作事業	札幌市南区長 大平 英人	大淵 一博（デザイン学部 講師）
29	札幌市立大学×JAF 札幌支部×厚真町 観光ルート創出事業	厚真町産業経済課 課長 加藤 克彦	福田 大年（デザイン学部 講師）
30	冬の「雪あかり」イベント PR チラシの製作事業	札幌市南区長 大平 英人	大淵 一博（デザイン学部 講師）
31	厚真町復興 PR 事業	厚真町長 宮坂 尚市朗	福田 大年（デザイン学部 講師）

2. 病院における患者の癒し空間の創造

社会医療法人明仁会・北新病院エントランスにおける患者の癒し空間の創造として、新しく開院した病院のエントランスホール壁面にアートレリーフ（作品幅 5m、高さ 2m）を制作・設営しました。大学院デザイン研究科 2 年・阿部嵐さんが企画からデザイン提案、作品制作、現地設営まで、アート作品に関わる全般に連携・参加しました。



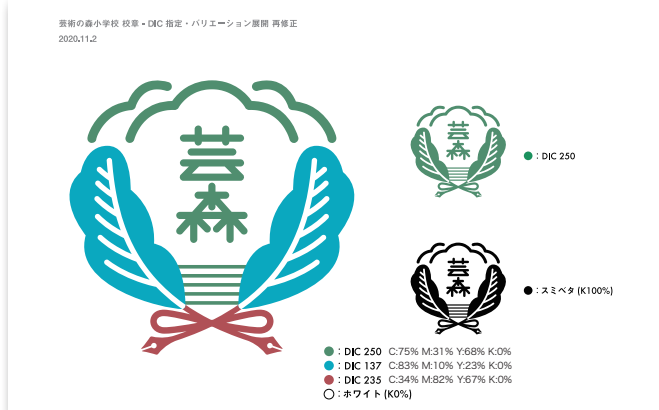
3. 広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業

札幌市が毎月発行している「広報さっぽろ」の南区版ページの表紙ヘッダデザインを制作しました。授業課題（南区のブランディングデザイン）で制作した「南区をイメージしたロゴマーク」デザインをベースとして、南区地域振興課の審査によって、人間情報デザインコース 12 名のヘッダデザインの作品が選出されました。これらのヘッダデザインは、2020 年 5 月号から 2021 年 4 月号まで、それぞれ「広報さっぽろ」に掲載されました。



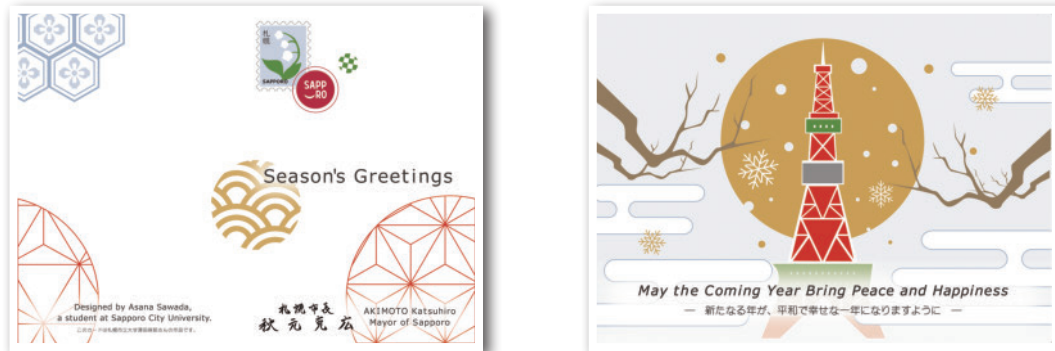
5. 札幌市立芸術の森小学校 校章デザイン募集事業

2021 年 4 月に常盤小学校と石山東小学校が統合して新設される「札幌市立芸術の森小学校」の校章デザインコンペが実施され、デザイン学部人間情報デザインコースの学生 3 名が受賞しました（最優秀賞：千葉彩織さん、優秀賞：鈴木萌乃さん・堀江海月さん）。最優秀賞に選考された作品は、デザインのブラッシュアップ後に、同校校章として正式採用となりました。



6. 札幌市グリーティングカード作成事業

札幌市長名で国内外に送付するグリーティングカードをデザインする事業に、デザイン学部2～4年生11名が参加し、12作品が集まりました。2020年10月5日に札幌市総務局国際部職員、国際交流員の方々による審査会が行われ、デザイン学部人間情報デザインコース2年生1名の作品が採用されました。12月上旬にドイツ・ミュンヘンなど海外の姉妹都市(計155カ国)や在札外国公館などに向け、400通が発送されました。応募全作品は2021年1月25日～29日にさっぽろ地下街オーロラタウンのオーロラプラザにて開催された「ワールドグリーティングカード展」にて展示されました。



7. 航空機のより快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン

2019年度に引き続き、株式会社AIRDOより依頼された「航空機利用者の行動観察および調査をもとにしたサービスデザインのための企画と提案」について、デザイン学部3年「デザイン総合実習Ⅳ」の課題として8名の学生が取り組みました。AIRDOより状況説明を受けた後、グループで分析、個人でアイデア展開、プロトタイプ化し、プレゼンテーションを行いました。結果として、子供用の絵本、トレーディングカード、スマホアプリ、マスコット、機内販売、空港内で迷わないマップ等、多数の提案ができました。



落書きコミュニケーションによる課題の発見

オンラインによる最終報告会

成果作品展

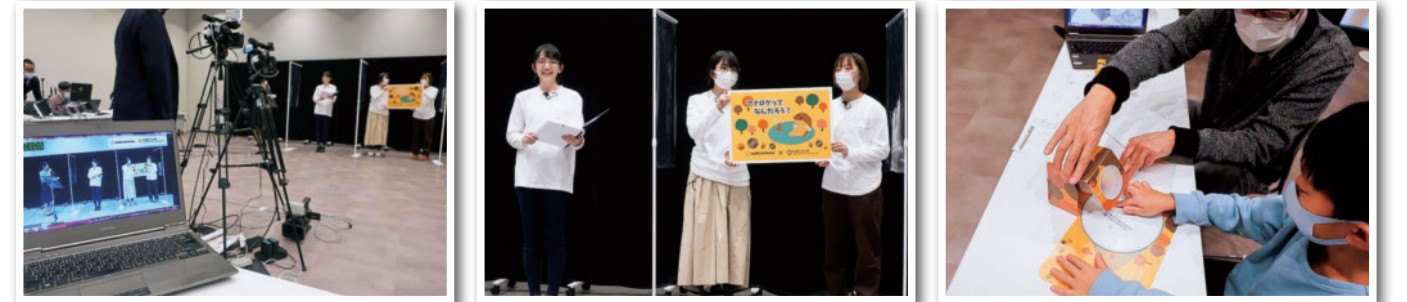
8. 元気ショップいこーる 商品ディスプレイプロジェクト

「元気ショップいこーる」のリニューアルオープン1周年記念イベントの企画として、さまざまな福祉事業所が製造する石けんを集めて紹介する「石けんフェア」を提案し、そのための店頭ディスプレイの制作を行いました。同時に、2020年2月から継続してきたステップバイステップの石けんブランド「noyne」の発売に合わせ、発売キャンペーンの店頭ディスプレイとしての制作も行いました。1周年記念イベントの9月1日～7日の1週間、事前の調査から展示物のデザイン制作、現地での設置、撤収までのすべての作業を、デザイン学部人間情報デザインコース3年生4名が行いました。



9. Audio-Technica / no maps アナログ・ワークショップ

サッポロ・シティ・ジャズで開催されたシアタージャズライブ(8公演)で使用するコースターを、デザイン学部人間情報デザインコース2～3年生10名が10種類デザインし、350枚配布しました。また、北海道内の約300組の親子が参加する「アナログってなんだろう?」のイベントの1つとして、ソノシートプレイヤーのデザインをコンペ形式で実施し、選ばれた案を使って、500セットの組み立てキットを製作し、参加者に配布しました。さらに、音とアナログを説明する紙芝居もデザインし、オンラインワークショップで学生が説明しました。



オンライン撮影・配信状況

紙芝居による音とアナログの説明

会場にお招きした家族の様子

10. 「札幌日信電子」企業イメージ募集

札幌日信電子株式会社の創立50周年記念事業の一環として、『「100年企業」を目指す企業イメージ』の募集がありました。これに、主にデザイン学部人間情報デザインコースの学生から10作品を応募した結果、森宗優香さんの提案が最優秀賞、長内絵美さんの提案が優秀賞、大学院デザイン研究科の川口伽耶さんの提案が社長賞として選ばれました。



森宗優香さんの作品

長内絵美さんの作品

川口伽耶さんの作品

11. 札幌軟石を使用した工作キット配布事業

札幌市南区の依頼により、南区の魅力PRや在宅でも楽しめる機会の提供として、南区の地域資源である札幌軟石を使用した工作キットの配布を行う事業の周知を図るため、南区役所や南区各小学校へ配架・配布するフライヤーをデザインしました。

デザインには、昨年度の授業課題(南区のブランディングデザイン)で提出された学生作品を踏まえて、依頼者よりデザイン学部人間情報デザインコース3年・川嶋ころさんが指名され、ロゴと背景のデザインが採用されました。



12. ショップバッグデザインコンペ

販促品としてのショップバッグのデザインコンペが実施され、デザイン学部の学生 16 名が参加しました。最優秀賞にあたる北のデザイン賞 2 作品と札幌市長賞 1 作品、社長特別賞 2 作品のうち、4 作品が本学参加学生作品からの選出となりました。その後、ショップバッグは生産され、土屋ホームトピアから市民に配布されました。

北のデザイン賞：証明日香さん(左)、山岸小百合さん(中)
札幌市長賞：齋藤来瞳さん(右)



16. 札幌市エレクトロニクスセンター多目的ホール空間デザイン作成

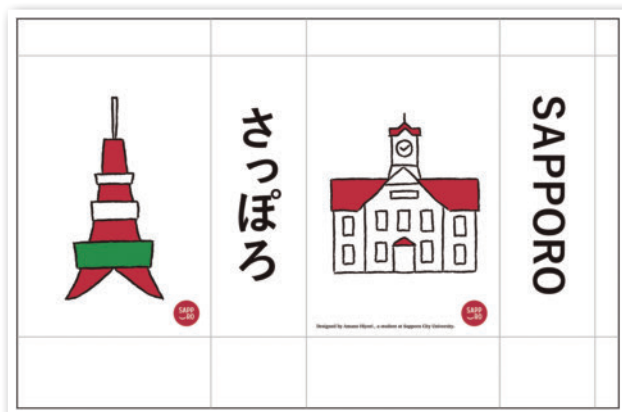
札幌テクノパーク内の中核施設である札幌市エレクトロニクスセンターでは、老朽化が進行しているため 1 階の共有スペースである多目的ホールの利用促進を目指した改装を行うことになり、空間デザイン案を募集しました。

デザイン学部 2～3 年生が提案し、札幌市・施設関係者による審査が行われた結果、人間空間デザインコース 3 年・宮古朱理さんのデザインが最優秀案として選定されました。2020 年度は部分的に改装工事が行われました。



17. 札幌市紙製手提げバッグ作成事業

札幌市総務局国際部からの依頼により、札幌市長を表敬訪問した方々に贈呈している記念品を収納するための、紙製手提げバッグをデザインしました。2020 年 8 月中旬にメールで募集を行い、デザイン学部 1～3 年生 20 名が参加し、21 作品が集まりました。10 月中旬に札幌市総務局国際部職員、国際交流員の方々による審査会が行われ、デザイン学部人間情報デザインコース 3 年・天野日和さんの作品が採用となりました。



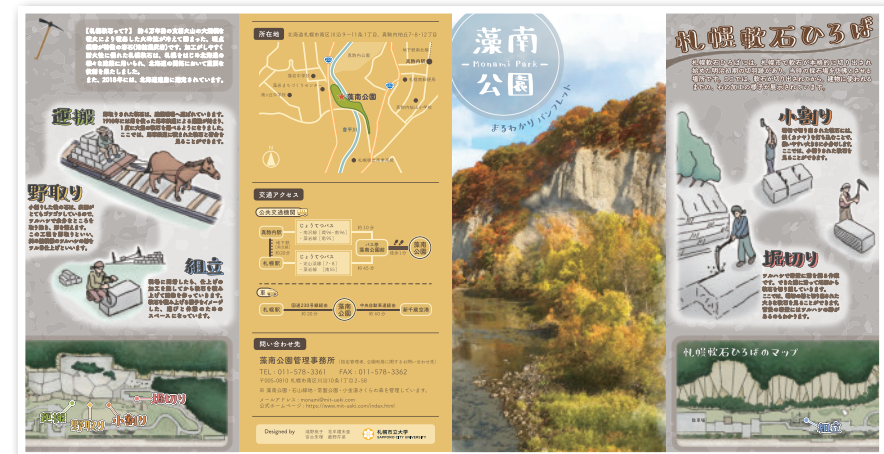
20. 「さっぽろ受動喫煙防止宣言」ロゴマーク募集

「さっぽろ受動喫煙防止宣言」のイメージを印象づけるロゴマークの募集があり、デザイン学部人間情報デザインコースの学生から 17 作品の応募がありました。この中から、3 年の証明日花さんの提案が最優秀賞、4 年の三上隼人さんと 3 年の千葉彩織さんの提案が優秀賞として選ばれ、証明日花さんの提案がロゴマークとして正式採用されました。



21. 指定管理業務 藻南公園・石山緑地パンフレット制作

札幌市南区の藻南公園・石山緑地の指定管理者から依頼を受け、デザイン学部学生 7 名と教員 3 名が公園パンフレットを制作しました。公園の現地調査、公園設計担当者によるレクチャー受講等を行い、石山軟石の採石場跡地である 2 公園の魅力がより伝わるデザインについて検討し、制作を行いました。パンフレットは日本語版、英語版の 2 種類を制作し、海外から訪れる方々にも、札幌市内の公園の魅力を発信できる作品に仕上げました。



24. 空き家を活用した多世代交流のまちづくり

子どもの交流拠点「ときのもり衣食住『かなでる』」の創出をめざして、学生ボランティアグループを結成し、週 2 回の多世代交流事業を実施しました。運営が軌道にのったため、今後は引き続き学生と市民との共同運営を継続していく予定です。学生ボランティアグループは、2020 年度学長奨励賞を受賞したほか、この場を卒業研究のフィールドとした学生 2 名が、卒業研究コース優秀賞を受賞しました。



26. NoMaps 2020 Conference ニュー NoMaps を考える。オンライン落書きコミュニケーションに挑戦

NoMaps のカンファレンスで、デザイン学部3年生と公益社団法人日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会イノベーション委員会とが、オンラインでワークショップを実施しました。オンラインによる「落書きコミュニケーション」は初めての試みで、新しい形のデザインワークショップの可能性を示すことができました。なお、実施状況は YouTube で全国に中継、アーカイブされました。※ NoMaps は北海道を舞台に、新しい価値を生み出す大きな枠組み。クリエイティブな発想や技術によって、次の社会・未来を創ろうとする人たちのための交流の場（コンベンション）です。



28. 南区の魅力を PR する啓発品製作事業

札幌市南区の魅力を PR する啓発品として、オリジナルマグカップのデザインを制作する事業です。マグカップの元デザインには、授業課題（南区のブランディングデザイン）で提出された学生作品の中から、南区地域振興課の審査により、人間情報デザインコース2年・織田健太郎さんの作品が採用されました。マグカップのサイズに合わせ、授業内で作成したロゴをアレンジしました。

マグカップは「カーキとグレー2種類の地色」×「白と黒2種類のロゴ色」を組み合わせた、計4種類のデザインとなっており、各150個制作され、南区地域振興課が主催するイベント等で市民に無料配布されました。



30. 冬の「雪あかり」イベント PR チラシの製作事業

南区内の各地区で冬に開催される「雪あかり」イベントを広報するチラシを制作しました。チラシの元デザインには、授業課題（南区のブランディングデザイン）で提出された学生作品の中から、南区地域振興課の審査により、デザイン学部人間情報デザインコース2年・澤田麻那さんの作品が採用されました。

チラシは2,500枚印刷され、南区役所、南区内各まちづくりセンター、地下鉄真駒内駅、札幌駅前通地下歩行空間などにて配布されました。



表面

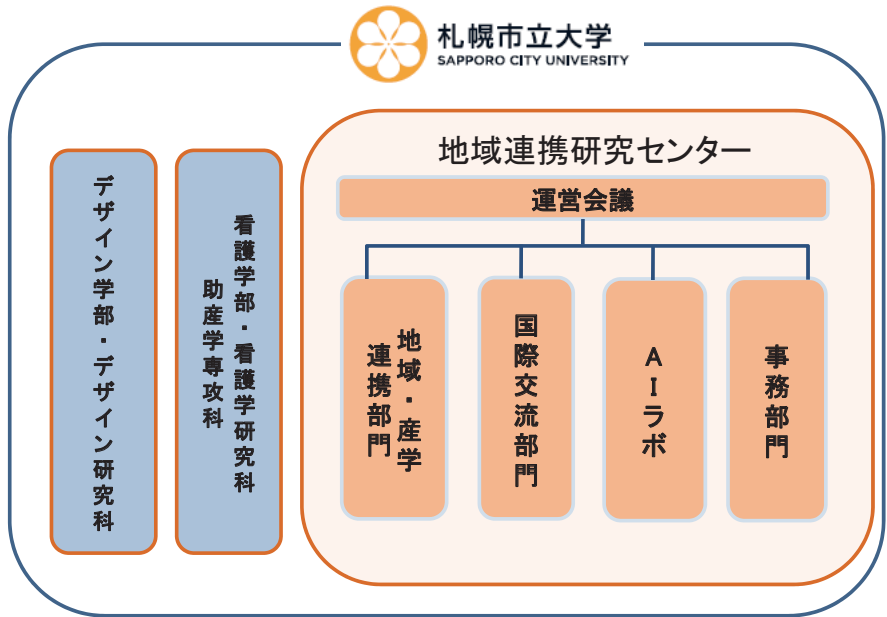
裏面

5. 地域連携研究センターのご案内

地域連携研究センターは、平成19年4月本学における研究活動、地域貢献活動及び国内外のネットワークの形成推進を図ることを目的に設置されました。センターでは以下の業務を担当しています。

- 1) 研究費、研究成果の公表等研究活動の推進に関する事項
- 2) 共同研究・受託研究、研究に係る寄附金等外部資金に関する事項
- 3) 市民講座等地域貢献に関する事項
- 4) サテライトキャンパスの活用に関する事項
- 5) 産学官金連携に関する事項
- 6) 国際交流その他の国内外のネットワークに関する事項

地域連携研究センターは設置者である札幌市との連携のほか、「札幌芸術の森」や「北海道立総合研究機構」と連携協定を締結し、さらに北海道中小企業家同友会産学連携研究会（HoPE）やR&Bパーク札幌大通サテライト（HiNT）運営協議会に参加して産学官金連携・地域連携に取り組んでいます。



【地域連携研究センターにおける社会との連携・協力に関する方針】

- 1 地域に資する研究の推進に加え、その研究成果を還元し、本学の持てる知的資源を活用するために、公開講座等を通じて、地域社会の人材育成、専門職の継続教育を推進する。
- 2 本学の構成員が、地域社会、産業界あるいは地方自治体等行政と連携をすることにより、本学が地域社会に果たすべき役割を積極的に担うことを支援する。
- 3 日本にとどまらず、アジア及び世界に視野を向け、協働し、本学の教育及び研究の交流を更に発展させることを支援する。

SCU産学官金連携相談窓口

地域連携研究センターでは、産学官金連携・地域連携にさらに積極的に取り組むため「SCU 産学官金連携相談窓口」を開設しています。こんな時、ぜひお気軽にご相談下さい。

研究・活動の content を知りたい／札幌市立大学との連携方法について知りたい

教員を紹介してほしい／公開講座等の行事等について知りたい など…

ご来訪の折にはご面倒でもあらかじめ電話またはメールにてご連絡をお願いいたします。
日時と場所をご相談させていただき、下記いずれかのキャンパスで承ります。

お問い合わせ・連絡先

札幌市立大学 地域連携課 地域・産学連携担当
〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目
TEL：011-592-2346 FAX：011-592-2369 E-mail：crc@scu.ac.jp



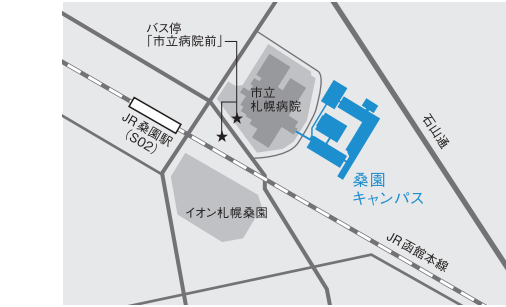
1.芸術の森キャンパス

場所

札幌市立大学 芸術の森キャンパス
〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目

Tel

011-592-2346



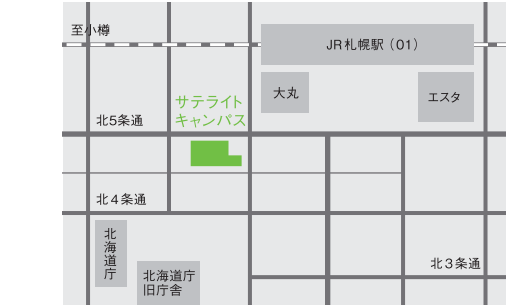
2.桑園キャンパス

場所

札幌市立大学 桑園キャンパス
〒060-0011 札幌市中央区北11条西13丁目

Tel

011-726-2500(代表)



3.サテライトキャンパス

場所

札幌市立大学 サテライトキャンパス
〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ 45 ビル12階

Tel

011-218-7500

札幌市立大学 研究・活動事例集 2021

編 集 札幌市立大学地域連携研究センター

発行日 2021（令和3）年9月24日

発 行 札幌市立大学地域連携研究センター

〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目

TEL. 011-592-2346

FAX. 011-592-2369

<https://www.scu.ac.jp>

E-mail : crc@scu.ac.jp



www.scu.ac.jp

札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

大学本部・デザイン学部・デザイン研究科

芸術の森キャンパス:005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目

TEL. 011-592-2300

看護学部・看護学研究科・助産学専攻科

桑園キャンパス:060-0011 札幌市中央区北11条西13丁目

TEL. 011-726-2500